

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成25年8月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成25年8月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

| 年 月 | 平成24年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 508 | 652 | 638 | 485 | 522 | 596 | 396 | 412 | 404 | 482 | 539 | 542 |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 53,593 | 78,387 | 112,254 | 80,325 | 83,691 | 100,449 | 84,479 | 81,991 | 78,794 | 83,547 | 105,437 | 113,982 |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 184,260 | 186,877 | 189,570 | 192,007 | 194,315 | 196,680 | 199,051 | 201,086 | 203,125 | 204,938 | 206,375 | 207,859 |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 37,732 | 36,935 | 39,034 | 41,341 | 43,321 | 42,495 | 43,576 | 43,005 | 42,796 | 41,718 | 41,219 | 41,929 |

| 年 月 | 平成25年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|-----|-----|-----|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 639 | 531 | 333 | 565 | 514 | 490 | 417 | 385 | | | | |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 225,359 | 231,130 | 146,144 | 193,096 | 185,542 | 216,211 | 155,483 | 117,466 | | | | |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 210,010 | 212,103 | 213,850 | 216,178 | 218,537 | 220,361 | 222,432 | 224,281 | | | | |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 42,139 | 40,774 | 39,321 | 41,940 | 42,801 | 42,327 | 42,886 | 43,202 | | | | |

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月から平成25年2月まで外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 8月次の概況 >

8月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=97円台後半で取引が始まり、米経済指標の強弱入り混じる結果や日米欧の株価下落を背景にリスク回避姿勢の強まり等により、相場の方向感に乏しいなか月を通じて98円を挟んでの狭いレンジでの動きに終始し、98円台前半で月末を迎えました。米ドル/円の変動率は、日次では大きく相場が動いた日があったため前月を若干上回る高い水準となりましたが、月間の値幅は前月と同様に4円程度の水準にとどまりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、クロス円通貨ペアについては概ね米ドル/円と同様の相場展開のなか比較的高い変動率となり、米ドル/円を含めた全体としての変動率も前月を若干上回る高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、方向感に乏しい相場状況を受けての取引手控えも見られ前月比約24%減少の1,174億通貨単位となりました。一方、営業収益は、カバー取引手法の継続的改善による収益性の底上げ効果もあり取引高当たり収益性が前月と比べ大幅に改善したことから、前月と比べた減少率は約8%にとどまり、単月の損益分岐点を上回る水準である385百万円となりました。また、顧客基盤については、方向感に乏しい相場状況やお盆の影響等により増加ペースが若干鈍化し、顧客口座数は前月比1,849口座増加の224,281口座、外国為替取引預り証拠金は前月比316百万円増加の43,202百万円となりました。

以 上